

編集後記

私が勤めている核融合科学研究所の近隣に、岩村城という日本三大山城に数えられる城址がある。連綿と700年に互り続いた城の歴史は明治時代の廃城令で終止符が打たれ、現在は木々生い茂る山の中に石垣土塁が残るだけであるが、城址まで登る山道が清々しい。その城址への登り口に、美濃国岩村藩出身の儒学者である佐藤一斎の有名な「三学戒」の石碑がある。

「少くして学べば、則ち壯にして為すことあり
壯にして学べば、則ち老いて衰えず
老いて学べば、則ち死して朽ちず」

志を持ち続けることの大切さを省みさせてくれる好きな言葉である。その一方で私、省みはするものの諸事に追われて、日々やっとのことで過ごしているような気がする。

さて、2年間の編集委員の任期がもうすぐで満了するが、編集委員を拝命して、この2年間で再認識したことは、やはり時間の経つことが早いことだ。毎月々初めに定期的に行われる編集委員会が終わったかと思うと、次の月の編集委員会の準備をしなければならぬ時期が直ぐに迫ってくることの繰り返して、あっという間に2年が過ぎようとしている。編集委員として、プラズマ・核融合学会の発展にどれだけ貢献できたかは甚だ自信がないが、小さい学会にも関わらず広範な分野の研究者が属するプラズマ・核融合学会で学会誌の企画・編集に携われたことは、良い経験だったと思う。この場を借りて、学会誌に魅力ある企画記事を掲載するために一緒に議論させていただいた編集委員会の皆様、そして、いつも学会を力強く支えてくれている頼もしい事務局の皆様にご感謝申し上げます。今後は、一会員として、学会誌に論文を投稿することで学会に貢献したいと思っている。

(坂本隆一)

プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副 会 長	小川 雄一	藤山 寛	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	秋山 秀典 板垣 正文 (広告委員長) 坂本 慶司 寺井 隆幸 (編集委員長) 林 康明		疇地 宏 加藤 敬 笹尾眞實子 畑山 明聖 (広報委員長) 山崎 耕造 松尾 慶一		伊藤 早苗 (企画委員長) 近藤 光昇 (財務委員長) 佐野 史道 (出版委員長) 浜口 智志 (プログラム委員長)	
監 事	飯尾 俊二					

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 寺井隆幸 (東大)

エディター 関子秀樹(九大)、田中雅慶(九大)、福山 淳(京大)、村上匡且(阪大)、室賀健夫(核融合研)

編集委員 石島達夫(名大)、市来龍大(大分大)、出射 浩(九大)、伊藤清一(広島大)、打田正樹(京大)、江原真司(東北大)、大谷寛明(核融合研)、神谷健作(原子力機構)、假家 強(筑波大)、菊池崇志(長岡技科大)、菊池祐介(兵庫県立大)、栗本祐司(シャープ)、近藤正聡(核融合研)、齋藤和史(宇都宮大)、坂本隆一(核融合研)、四竈泰一(京大)、高橋幸司(原子力機構)、田中康規(金沢大)、濱口真司(核融合研)、原 正憲(富山大)、東口武史(宇都宮大)、藤岡慎介(阪大レーザー研)、前原常弘(愛媛大)、三浦英昭(核融合研)、三宅弘晃(東京都市大)、宮本光貴(島根大)、森 道昭(原子力機構関西)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第86巻第5号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階
社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

印刷 株式会社荒川印刷
2010年(平成22年)5月25日

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。